



忍城  
おし じょう

しんしゅんごう  
新春号

# ミュージアム通信 No.20

はくがくれんけいてんじ  
博学連携展示

## むかしのくらし

2/4日(土)~4/1日(日)

みなさんのおじいさん・おばあさんが子供のころと今とでは、使っている道具、住んでいる家の様子、着ている服、いろいろなものが今と違ったり、もうなくなってしまうものだったりします。明治から昭和のくらしを体験してみましよう。



体験展示コーナー

むかしのあそび

- ・けん玉
- ・お手玉
- ・すごろく
- ・びんびんごま
- など

むかしの着物  
むかしの農具  
むかしの居間  
蚊帳

「天神さま」とは…

学問と和歌にすぐれた平安時代の人物、菅原道真のことです。死後に雷の神様「天神さま」としてまつられました。

ラウンジ展示 学業成就! 「天神さま」

郷土玩具の中から、学問の神様「天神さま」にちなんだものを選んでミニ展示を行います。

開館時間 午前9時~午後4時30分 (入館は午後4時まで)

休館日 毎週月曜日 ほが 1/27、2/21、22、24、3/21、23

お問い合わせ TEL 048-554-5911

●次号は4月上旬発行予定です●

<http://www.city.gyoda.lg.jp/kyouiku/iinkai/sisetu/hakubutukan.html>

平成24年1月13日発行  
編集・発行 行田市郷土博物館  
〒361-0052  
行田市本丸17-23

無料券のご案内

このチラシを持って行田市郷土博物館に来ると、市内の小・中学生1名のみ1回だけ無料で入館できます。右下の無料券部分を受付で見せてください。

無料券

(小・中学生のみ)

有効期限

平成24年4月1日まで

もよお もの あん ない しん しゅん  
**催し物案内・新春**

かい あ  
**「貝合わせをつくろう」**

たい けん  
**体験イベント**

ラウンジ・ワークショップ  
**「こはぜストラップをつくろう」**

ど  
**2/11(土)**



へい あん じ だい つた あそ  
 平安時代から伝わる遊び、  
 かい あ うち がわ きんいろ  
 貝合わせ。内側を金色に

ぬったハマグリに、自分の好きな絵をかきます。

できあがったら昔の作法にならって遊んでみましょう。

どんな絵をかくか、考えてきてね。

ど  
**3/17(土)**



おし た び めいさん  
**「忍のさし足袋名産なり」。**  
 た び  
 足袋のとめ具、「こはぜ」と

ミニサイズの折り紙を組み合わせてすてきなストラップを  
 つくりましょう。折り紙の折り図は好きなものを選んでね!

・時間 午前 10:00~12:00 午後 1:30~3:30  
 10~30分くらいでつくれます。

・定員 午前50名 午後50名 計100名 (先着順)

・予約 なし

・場所 郷土博物館ラウンジ ・費用 無料

※参加は入館者のみになります。

作成は、1人1こまでとさせていただきます。

・時間 午後 1:30~3:30 ・定員 30名(先着順)

・予約 可能(受付カウンター/電話048-554-5911)

※予約いっぱいになることが多いのでご注意ください。

・場所 郷土博物館2階会議室

・費用 無料

【注意】

・5分前には必ずお越しください。

・小学生以下のお子様には大人の方が付き添って  
 ご参加ください。(保護者の方も作成できます。)

・会議室の開場は1:10からの予定です。

・汚れても平気な格好でお越しください。

ぜん かい ほう こく  
**前回のイベント報告**

ど  
**10/22(土) ヒエログリフのはんこをつくりました!**

はん こま かたち ほ  
**ゴム版に細かい形を彫る**  
 すこ むずか  
**のは少し難しく、みんな**  
 いっしょうけんめい じ ぶん  
**一生懸命でした。自分だ**  
 けのすてきなはんこが出  
 できあ  
**来上がりしました!**



ど しょうがつ  
**12/3(土) 正月ガザリをつくりました!**

「わらをなう」のは初めて!というお友達も、お父さんや  
 お母さんと協力して、とってもきれいにしめ縄がつくれ  
 ました!

ガザリもじぶんたちで  
 つくったんですよ。



お がみ  
**つくってあそぼう(折り紙)**

つる しょうがつ  
 ・鶴のお正月ガザリ ~1月おわり  
 ・おひなさま 2月はじめ~3月はじめ  
 ・武者ガバと 3月はじめ~



ち め しき  
**知識**

かい あ  
**「貝合わせ」ってなあに?**



「貝合わせ」は、ハマグリの貝の内側に  
 金粉や絵具で絵を描き、片方を伏せておいて、  
 びたりと合うもう片方の貝を探す遊びです。平安  
 時代の貴族の姫君たちの遊びから始まり、他の貝と  
 は絶対にペアにならないことから、嫁入り道具  
 として飾られるようになりました。今でも  
 貝をしまう「貝桶」がおひな様の  
 お道具に入っていることが  
 あります。